

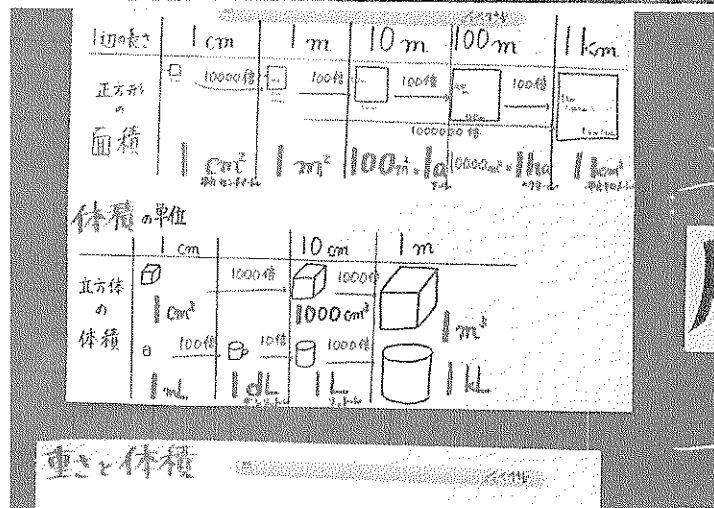
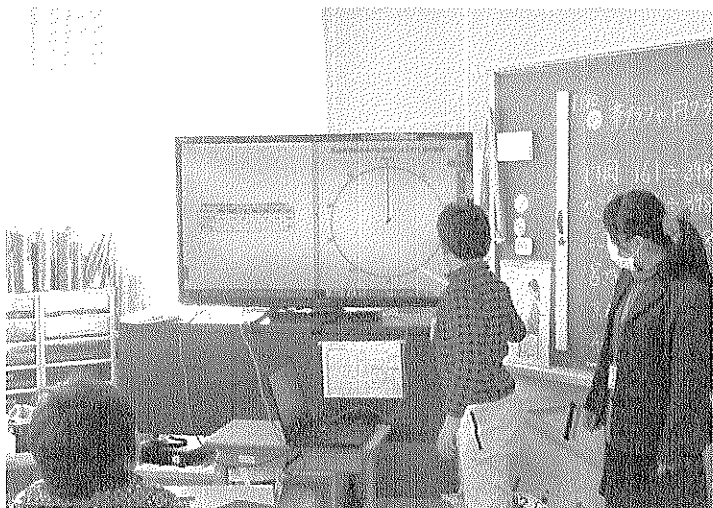
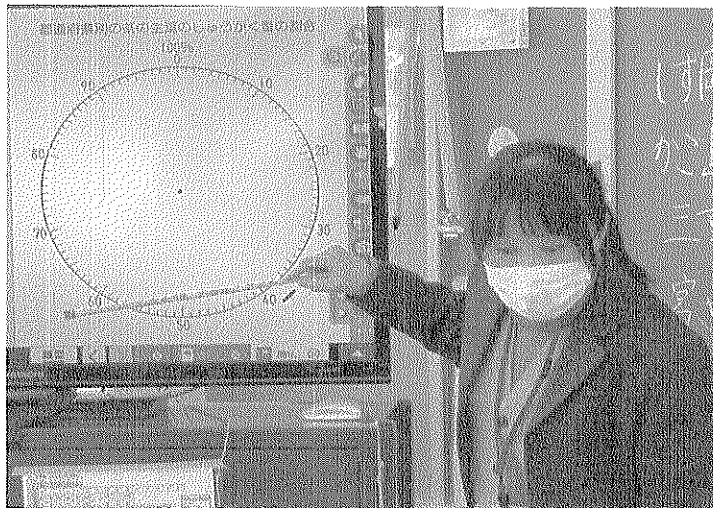
力をつける

今日の言葉

デジタル教科書活用のコツは
「拡大提示」+「焦点化」
+「教師の発話(発問・説明・指示)」

平成29年2月6日

桑田先生@一人一三二授業公開より



2月1日(水)の第5校時に桑田先生が算数の授業を公開してくださいました。ありがとうございました。中島先生と同じ時間帯の公開だったため、長い時間、参観できずたいへん失礼いたしました。すみませんでしたm(_ _)m。円グラフのかき方の指導をデジタル教科書を用いて指導されていました。子どもの手元にある教科書と同じものが、大きく映るので、たいへん有効だと感じました。特に画面いっぱいに円グラフを拡大提示されていました。MAX拡大といいます。東京学芸大学の高橋純先生は「腕のいい先生は、画面を見るだけで何を指導しているかが分かる。」とおっしゃっています。また、大きく映すだけでなく、指し棒で指し示したり、書き込んだりして、焦点化して指導していました。高橋先生は「ただ映すだけでは、子どもはそこを見ない。違うところを見るのが子ども」とも言われています。視覚支援の効果を最大限に発揮されました。高橋先生は、デジタル教科書を活用した指導のコツは「拡大提示」「焦点化」「教師の発話(発問・説明・指示)」と言われています。また、デジタルに頼るだけでなく「量の単位のまとめ」も、数多く掲示されていました。算数はとにかく「考えさせ、発見させる喜びを味わわせる」教科と思われがちですが、それだけではなく、習得した学習内容は、何度も繰り返し暗唱させて「覚えさせる」ことも大事だと思います。さっと計算できなければ、考えられませんのでf(^_^)。私も教室に掲示したい掲示物でした。さいごに、実物投影機で円グラフのかき方を指導すれば、更に有効かとも思いました。チャレンジにも実物投影機が欲しいなあと思いました。校長先生、よろしくお願いたしますm(_ _)m。

【文責：片山淳一】